



写真撮影：野中 純

### ■クマタカ (タカ科)

全長雄72cm、雌80cmほどで、翼を広げると1.5mに達します。成鳥は顔部から下面は白く、頭上から頭、肩には黒い斑紋、腹には黒い縦線があります。上面は灰黒褐色、急斜面のアカマツやモミなどの大径木に営巣し、ヤマドリ、ヘビ類、ノウサギなどを中心に、森林内の中小型の動物を食べます。



写真撮影：野中 純

### ■イヌワシ (タカ科)

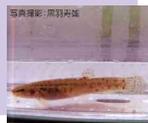
全長雄81cm、雌89cmほどで、翼を広げると2mに達します。成鳥は全身黒褐色、翼の後ろが金褐色。風切の基部と尾の基部が白く、飛行中良く目立ちます。岸壁の岩壁や大径木に営巣し、ノウサギ、ヤマドリなどを主な獲物とします。警戒した時に「カッ、カッ」などと鋭い声を発するが、通常はほとんど聞きません。



写真撮影：若原 伸也

### ■アカハライモリ (イモリ科)

全長7～14cmで、腹が赤いのが特徴です。平野部では主に水田とその周辺の水路やため池、標高約1,000m以上では湿地や沼に生息しています。本市では、平野部の水田から標高1,000m程度の遊地帯まで、広く生息が確認されています。



写真撮影：奥野 昇雄

### ■ホトケドジョウ (ドジョウ科)

標準体長は4cmですが、6cm前後の大型の個体も見られます。体型は小型で細長く円筒形で、8本のひげがあります。主な生息地は、水田周辺の湧流や農業用水路で、河川の本流域に出現することは少なく、雑食性で、水生昆虫等の小動物を主食としています。



写真撮影：道川 洋

### ■ミヤマシジミ (シジミチョウ科)

前翅長1.5～1.6cmで、翅の裏の表面は鮮やかな金剛光沢のある青色をしています。河川敷に生息し、年3～4回の発生で、5月下旬から10月上旬に出現します。河原など開けた草地を低く遊動に飛び回り、コマツナギやヒメジョオンなどの花の蜜を吸います。

## 違反行為に対する罰則について

○条例には罰則を定めており、違反すると下表の罰則に処される場合があります。

違反行為	罰則
◎特別希少野生動物種の個体の捕獲等の禁止規定に違反した者 ◎偽りその他の手段により特別希少野生動物種の個体の捕獲等の許可を受けた者 ◎特別希少野生動物種に係る措置命令に違反した者	1年以下の拘禁刑 又は 50万円以下の罰金
◎特別希少野生動物種の個体の捕獲等の許可条例に違反した者	6月以下の拘禁刑 又は 30万円以下の罰金
◎特別希少野生動物種に係る報告徴収を拒否した者、虚偽の報告をした者、職員の入立検査を拒否した者、妨害した者、回避した者、職員の質問に答えない者、虚偽の陳述をした者	20万円以下の罰金

※過失による捕獲等は本条例違反とはなりません。  
○法人等の従業員がその法人等の業務に関し、上記表の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人等も罰します。



編集・発行

那須塩原市ネイチャーポジティブ課

〒325-8501 栃木県那須塩原市共聖社108番地2

連絡先 TEL：0287-74-2602 FAX：0287-62-7202

## 那須塩原市希少野生動物種の保護に関する条例

～健全な自然環境を次代に継承するために～



野生動物は、人類の生存の基盤である生態系の基本的構成要素であり、その多様性によって生態系で様々な機能を果たし、私たちの豊かな生活にとって欠かせないので重要な役割を果たしています。

しかし、様々な人間活動による圧迫に起因して、地球上では、かつてない速さで種の絶滅が進行し、また、多くの種が絶滅の危機に瀕しています。したがって、私たちの豊かな生活を確保するためにも、人間活動の影響による種の絶滅防止に向けた取組を推進することは重要な課題です。

那須塩原市としては、市の優れた自然環境の象徴として存在している希少野生動物種の保護を図ることを通じて、市民共有の財産である健全な自然環境を次代に継承することを目的として、「那須塩原市希少野生動物種の保護に関する条例」を制定しました。

## 那 須 塩 原 市

### 希少野生動物種とは・・・

(希少野生動物種の定義)

この条例では、市内に生息し、生育する野生動物種のうち、次のいずれかに該当するものを「希少野生動物種」としています。  
○種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないもの  
○種の個体の数が著しく減少しつつあるもの  
○種の個体の主要な生息地又は生育地が消滅しつつあるもの  
○種の個体の生息又は生育の環境が著しく悪化しつつあるもの  
○上記に掲げるもののほか、その種の存続に支障を来す事情があるもの  
具体的には、「那須塩原市希少野生動物種の保護に関する条例第2条第1項の希少野生動物種を定める規則」で定めるものをいいます。



### 希少野生動物種の紹介

指定された希少野生動物種を一部紹介します。



写真撮影：中井 秀樹

### ■ヒメアマナ (ユリ科)

やや湿った原野にまれに生える多年草で、葉は1枚で10～20cmの細い線形です。春、1本の花茎に2～5の花柄を出し1cmほどの黄色い花を散形につけます。葉内でも殆ど確認されていない希少種です。



写真撮影：河村 博

### ■ナスヒオウギアヤメ (アヤメ科)

日当たりのよい野水池や水田用水路の周辺に生育する多年草で、花茎の長さは1mあまり、葉の幅も2～3cm、外花被片も幅広く、全体的に大きいです。ヒオウギアヤメによく似ています。殊に内花被片はすみれ色です。昭和37年、那須町で昭和天皇によって発見された植物です。